

白石の新鮮野菜 う〜んとうまいから、食べてみてけらい〜ん！  
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 ☎農林課 ☎22-1253



●3月の人気農産物  
ホウレンソウ、ネギ、ジャガイモ、キャベツ、ダイコン など

1. 青葉市直売所  
月1回の「サービスデー」(定期市)を開催中！ 各店とも月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず、お好きな新鮮野菜1点をサービスします。 両店舗であま〜い「シリウスいちご」販売中！

①ポーチパーク内  
●販売日時 毎週水・土曜日 9:00～12:00  
②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば)  
●販売日時 毎週水曜日 9:00～12:00  
③いきいきプラザ 4月19日(土)から営業  
※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。  
☎大槻 久江 ☎25-8572

2. バーバ工愛市(クラブいち)  
今月のオススメは、人気農産物のほか、アスパラ菜、塩蔵きゅうりなど。両店で「彼岸花」を取り扱います。

①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい(バーバ工愛市のオレンジ色のぼり旗が目印です！)  
●販売日時 毎週水曜日 9:00～12:00  
②JAみやぎ仙南福岡支店構内 3月8日(土)から営業再開！  
営業初日は、お楽しみプレゼントを用意しています。  
●販売日時 毎週土曜日 9:00～12:00  
☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

3. 小原いきいき直売所 4月から営業！  
平成26年4月から営業を再開します。

4. 百姓市場  
●販売日時 毎週火・日曜日 10:00～13:00  
●場所 ポーチパーク内  
☎佐久間義昭 ☎25-6836

5. 羽山朝採り市  
●販売日時 毎週土曜日 9:00～12:00  
●場所 犬卒都婆公会堂前  
☎小畑 胖 ☎27-2236

6. 小十郎の郷 毎日営業！  
新鮮野菜のほか、平日はお弁当やお惣菜を取り揃えています。土・日曜日は、数量限定でコロッケ・メンチカツ・肉団子を販売中！

●販売時間 9:00～18:00  
●場所 JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内(福岡長袋字八斗蒔)  
☎小十郎の郷 ☎22-0881 http://www.kojiuro-sato.com

7. 馬牛沼産直センター  
●販売日時 毎週火・木・土・日曜日 9:00～17:00 (定休日：毎週月・水・金曜日)  
●場所 国道4号沿い馬牛沼付近  
☎馬牛沼産直センター ☎25-0520 bagyunuma@yahoo.co.jp

8. 軽トラ市  
●販売日時 毎週金曜日 9:00～12:00  
●場所 すまゝひろば  
☎四籠 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物、放し飼いの卵などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。  
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。  
「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

甘み・喉ごしアップ! 「寒ざらしそば」仕込み作業

1月20日、毎年恒例となっている「寒ざらしそば」仕込み作業が白石スキー場近くの垂清川上流で行われました。11年目となる今年の作業には、白石興産株式会社の社員やそば店の経営者など10人が参加。白石高原産のそばの実「玄そば」約540kgを、立春の2月4日までの約2週間、蔵王

の清流に浸しました。冷たい清流に浸すことでそばのアクが抜け、ほのかな甘みが増し、つるりとした喉ごしが楽しめる「寒ざらしそば」。材木岩公園内の「小原なごみ茶屋」などで3月19日(水)から提供されるほか、市外の飲食店でも提供される予定です。



▲気温マイナス2.5度の中、作業する参加者の皆さん

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

四つ割りの白菜ならば軒の下冬日さし入り一面まぶし 鈴木 茂子  
あたらしき赤きバイクを求めたりみんなたまたま 高子うみん  
けて気つけらいと 高子うみん  
歳かさね体そち痛めども医の導きに支へられて生く 八嶋 正子  
春を待つ蒼抱きて木蓮が身じろぎもせず西風に立つ 寺崎 悦子  
嫁きたくなくかりし筈が北にきて雪のくらしを 大庭美智子  
米寿迎え七日目の朝刻みゆく雑煮の芹の香り 佐藤喜和子  
清しも 丸まこきス  
柚子の木に大き果実に似るほどの 高子うみん  
ズメ肩を寄せ合う 高野 博子  
初日の出おがめぬわに孫がよこす写真におさめた七ヶ浜の太陽 遠藤 舞  
友から文字なつかしき年賀状「元気ですか」に「はい」と応えり 佐藤 啓子  
葉の落ちた桜の枝より透かしみる白石城に月かかると 別当内信夫  
【評】一首目、丁寧に季節の景を詠まれた。野菜の瑞瑞しさも伝わって来よう。  
二首目、作者ご高齢、みなさんのお声掛けはありがたからう。「たまげる」の「げる」は消えるの変化で、「魂消る」(驚く)。  
三首目、「医」は医師とかお医者さん、下の句に感謝の念があふれている。

俳壇

山家 弘子 選

高子うみん  
服部 忠孝  
沼田 营火  
岩松 隆志  
制野 リエ

美しき鐘の音響く初御空 和田 游稀  
街師走寺のサロソにコンサート 大庭美智子  
雪虫車掃除に纏いつく 末吉アツ子  
雪虫や冬の訪れすぐそこ 安藤 聡  
健やかに米寿の幸や雑煮食む 佐藤喜和子  
【評】一句目、新年に九十才になったことへの喜びと感謝を大らかに詠んでいる。心身の衰えを数えずに今出来ることを数え老いを生き抜いていくことの大切さを教えてくれる大人の句。  
二句目、鳩は鴨より小さく湖沼や川などでよく潜ってはエビや小魚をとる。中々浮いてこないで捜している、思わぬ所に浮かびあがるのが面白く川風の寒さも忘れ眺めていたのである。  
三句目、同窓会に行く妻は化粧も服装もバッチリ決めて足取りも軽く風のように出掛けて行った。その変身ぶりに驚いている夫。  
【評】一句目、資源を外国に頼る日本だが、ゴミは増え続ける。ゴミを出さない増やさない、使えるものはまた使う。国民の課題か。  
二句目、見ざる言わざる聞かざるの三猿を思わせる昨今の世相。しかし、国民には知る権利がある。情報のないところに運動はない。三句目、今年も年賀状欠礼の葉書が多かった。年毎に増える寂しさ。「門松は冥土の旅の一里塚目出たくもあり目出たくもなし！」

柳壇

四電 英夫 選

資源ない国だがゴミは無尽蔵 山田 守  
秘密保護見るな喋るな耳に蓋 草野 清  
年毎に一人二人と減る年賀状 阿部はぎの  
おもてなし七草たく武家屋敷 斎藤 典子  
ストープの特等席は猫が占め 末吉アツ子  
猫を抱き子守歌など孫娘 小室 蓉子  
大掃除陽だまり猫の毛づくろい 渡辺さつ子  
編み物で気持ち安らぐ余暇過ごし 大庭美智子  
生きたいと一掴みほど葉食う 高子うみん  
手術して世間なんでも見え過ぎる 佐久間とみ子

風間市長の風のささやき 「大河ドラマ」

今年もNHKの大河ドラマが始まっています。今回は戦国時代に活躍した「黒田官兵衛」が主人公です。ところで皆さんはこの主人公をご存じですか？ 私は恥ずかしながら名前も知っていませんでした。昨年の新島八重さんも、大河ドラマで知れた偉人、市民の皆さんも大河ドラマで知ることとなる偉人が多いのではないかと思います。 今回の「軍師官兵衛」で大河ドラマも53作目。その中で私が一番心に残っている作品をご紹介します。 「二人の男がいる。歴史が彼を必要とした時、忽然として現れ、その使命が終わると、大急ぎで去った。もし維新というものが正義であるとするれば、彼の役目は、津々浦々の枯れ木にその花を咲かせてまわる事であった。 中国では花咲翁の事を花神という。彼は、花神の仕事を負ったのかもしれない。彼一村田蔵六、後の大村益次郎である。」から始まる、第15作目の「花神」です。 私が見ていたのは高校時代で、この時代にとっても興味を抱くようになったことを覚えています。吉田松陰も登場し、幕末の英傑、高杉晋作や坂本竜馬、桂小五郎、西郷隆盛。そして幕府側の徳川慶喜や新撰組、河井継之助まで登場するので、安政から明治初期までの流れがうまく理解できました。 村田蔵六のことを知ったのは、やはりこのドラマからです。ただし西軍からの見え方ですが…。

重長の度量、才覚を見込んだ幸村は、自分の子女を片倉に託し、負けを悟った後も最後まで猛攻し果てて行くのです。真田家と本市との縁はこのように400年を経ようとしています。 真田家の城下町である長野県上田市では「日本一の兵 真田幸村公」をNHKの大河ドラマで放映いただきたいと要望活動を展開。82万人を超す署名が集まり、本市のみならず、真田家とゆかりのある市町村も、ともに協力しています。NHKへの要望活動は7度目を迎えておりますが、幸村のように不撓不屈の精神で望み、いつか道明寺の戦いのシーンをテレビの前で全国民と見ることが叶ったら素晴らしいと願わずにはいられません。